

<白金標準、エリオット波動論で示す第5波への備え・・・>



(出所：オアシス)

BHP のアングロ・アメリカに対する正式な買収案は、7 兆 7000 億円の金額を新たに提示し、ただ条件において従来のアングロ・アメリカ・プラチナとクンバ鉄鉱石社のスピノフ（過半数株式の売却）を示されている。そのためアングロ・アメリカは南アフリカ政府との協議が複雑化するリスクを考慮し、正式な買収案を拒否している。ただ両社は、5 月 29 日まで協議を継続する事で合意しており、前進を示す動きに捉えられている。

しかし 29 日までの協議も、南アフリカ政府との関係を考慮すると時間的な猶予がなく合意に至らない可能性が高いとの見方が強まっている。

ただ買収されてもアングロ・アメリカ・プラチナのスピノフの問題、買収されなくてもアングロ・アメリカの事業縮小計画を受けたアングロ・アメリカ・プラチナの分離独立の動きとなり、年間プラチナ生産 54 トンの供給量の不確実性には変わりがなく、NY 白金で 1000 ドル、白金標準先物で 5100 円の抵抗は示す値動きと思え、29 日以降でも 5100 円を維持する事が示される様であれば、第 5 波の上昇へ移行すると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げながら、**シグナル** も切り下げている。RCI では**短期**が下げて、**長期**は維持するなど強期の域における調整安に思われ、下げ止まると再度 5300 円を超えらると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 5 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 76,560 円(2024 年 5 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>